

# 令和4年度浜松市立三ヶ日東小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

自己評価結果及び考察は、別紙のとおり

## 2 学校関係者評価

1月26日（木）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・授業参観を行ったが、どの教室も明るく、何でも言い合える雰囲気がある。
- ・どの活動においても、明るく元気よく活動している。先生方がキャリア教育で付けたい4つの力を意識して授業を行っているのが感じられる。先生方の声掛けも穏やかで、子供たちが安心して授業に取り組んでいる。
- ・タブレットを使い慣れており、技能の高さに感心させられる。打ち込みが速い。
- ・掲示物がきれいに整備、展示されている。学習環境がよい。
- ・先生との対話はよくできているが、子供同士の関わりが少し弱いと感じるところもあった。授業の中で意見のぶつかり合いがもっとあるとよい。
- ・教科担任制については、児童、保護者とも肯定的な意見が多かったが、低学年が心配である。低学年にとって担任の先生はとても特別な存在で、必要な時に担任が不在だと不安になる。高学年は効果が高いと思う。低学年では、何かあったときにすぐに担任に話せるように、担任は、ある程度の時間、担任している学級にいさせたい。

## 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・教科担任制については、低学年については、担任との信頼関係を育むため、できるだけ担任が指導する授業を多くするように配慮する。高学年については、本年度同様、算数科、理科、体育科、外国語科を中心に積極的に行っていく。
- ・キャリア教育で付けたい力である「人とつながる力」「主体的に行動する力」「できるまで努力する力」「将来を見通す力」の育成については、教師だけでなく、児童の活動にも十分浸透してきた。来年度は、この4つの力を三ヶ日町内での小中9年間の学びの視点から見直し、「思いやりの心と健やかな体で学び続ける、活力ある三ヶ日東の子」を目指す子供像とし、誰もが自分らしく輝ける子の育成を目指す。
- ・児童の対話的な学習をさらに積極的に取り入れていくために、ICT活用能力の育成を含めた校内研修を充実させていく。

# 令和4年度 学校評価アンケート結果

松小111 浜松市立三ヶ日東小学校

本校では、キャリア教育の視点から「人とつながる力」「主体的に行動する力」「できるまで努力する力」「将来を見通す力」の4つの力の育成を目指している。そこで、この4つの力を中心に令和4年度の自己評価目標を設定した。また、今年度実施した教科担任制や、リモート授業についての評価についても追加し、保護者11項目、児童19項目をアンケートにより回答していただいた。

今回の結果を基に、教育環境や指導方法の改善を図り、学校教育目標「夢をもち、都筑の丘に輝く子」の実現に向かって、教職員一同心を一つにして児童の育成に努めていきたいと考える。

## 児童アンケートより

- 97%の児童が、楽しく学校生活を過ごしていると考えている。また、97%の児童が授業は分かりやすく楽しいと答えている。ほとんどの項目で85%を超えており、落ち着いて充実した学校生活を送ることができている児童が多いと言える。
- △ 90%の割合を超えていない項目が3つある。いじめをする人はいないという項目、困ったことや悩みがある時に相談できるかという項目、「10×学年+10分」の家庭学習ができているかという項目である。いじめの問題に関する児童の意識の高まりが見られる。また、家庭学習については、タブレットを使用する学びが増えたせいか、学習時間の意識が低下していると思われる。

## 保護者アンケートより

- 本年度追加調査した、教科担任制、リモート授業については、95%以上の肯定的な評価をいただいた。子供は人とのつながりを大切にしていると考えていることや学校行事等に積極的に参加し、学校のことを知ろうとしてくださっており、学校の教育活動や運営を肯定的に評価していただいている。
- △ 90%の割合を超えていない項目が3つある。子供と夢や希望について話をしているかという項目、子供の家庭学習の状況を把握しているかという項目、インターネットの使い方について約束を決めて見届けているかという項目である。子供と関わり話し合うことが少なくなっているのではないかと思われる。

## 教職員アンケートより

- 学校の教育活動や運営について、おおむね肯定的にとらえている。本校の強みは、子供が素直で保護者や地域が協力的であることと回答している割合が高い。
- △ 本校の弱みについては、小人数のため人間関係が固定化してしまうこと、自主性に欠け心が弱い子供が多いという回答が多かった。学習面に関しても粘り強く、最後までやり抜く力に欠ける子供がいるとの回答が多い。

## 成果について

児童や保護者、教職員の生活面や学習面に関する回答から、充実した学校生活を送っていることがうかがわれる。また、学校行事の充実を図ったり、サポーター等の外部人材を多く活用した活動を行ったりし、楽しい学校づくりへの取り組みを高く評価してくださっていることが分かる。

## 課題、改善策について

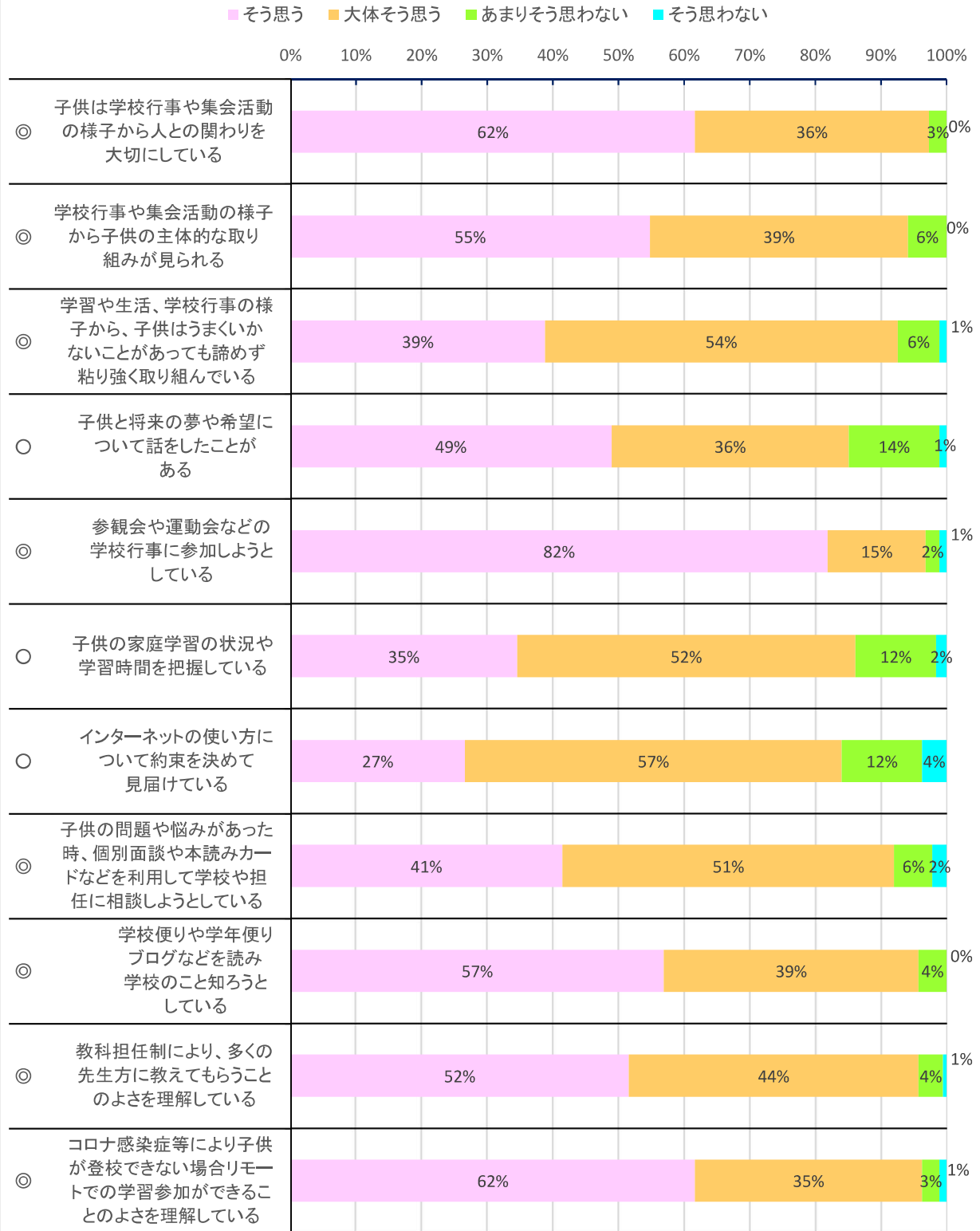
課題については、家庭学習の充実、いじめ防止への取り組み、将来についてのビジョンの描かせ方が挙げられる。家庭学習については、児童、保護者とも物足りなさを感じている割合が高い。タブレットの活用方法も含めて、家庭学習の取り組み方について改めて考え、手引きを作成し、児童、保護者に周知・徹底を図っていきたい。また、いじめ防止についての取り組みについても、積極的な認知や児童理解を強化し、何かあったらすぐに相談できる温かな雰囲気づくりにも努めていきたい。学校教育目標である「夢をもつ」ということについては、キャリア教育の具体的な子供像を見直し、キャリアプランニング能力の育成について研修を深めていきたい。そして、悩み・家庭学習・夢など、親子で話し合える機会が多くもてるよう、学校からの情報発信の仕方を工夫していきたいと考える。

自己評価結果

肯定的な評価とは、各設問に対する回答が「そう思う」「大体そう思う」の合計。  
 成果を各設問の左に記号で示した。

肯定的な評価が90%以上	◎	肯定的な評価が70%以上	△
肯定的な評価が80%以上	○	肯定的な評価が70%未満	×

## 保護者 学校評価アンケート集計結果



# 児童 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

